

mebuが

2017.6月号... Vol.109

犬の歯周病の予防と治療
人と動物の幸せを繋ぐ
東洋の動物医療推進員
茅山 貴彦 先生



歯周病菌 vs 納豆菌!

いと昔前までの寿命を大幅に越えたニ長寿犬が増えています。そのため、昔は「犬が歯周病」なんて考えでもありませんでしたが、現在では「犬の歯周病(特に7歳以上のシニア犬)」が問題となっています。歯周病は犬も人とほぼ同じ。歯周病菌の影響で心臓病悪化や腎不全もあります。(下記記事参照) 獣医さんで歯石取りをして下さる医院も増えてますが、やはり日々のケアが大事。犬用のハミガキグッズも沢山出ていますが、ハミガキを嫌がるワンちゃんも多いのが事実。そこでわが家のシニア犬たちの「美味しいハミガキ」を紹介♡ 「納豆+甘酒で美味しく口腔ケア」です♡ 納豆と甘酒をミキサーにかけ、ドロドロにします。それを夜寝る前にスプーンに1〜2杯をペロペロとなめさせます。喜んで食べますよ♡ 納豆が臭うにも関わらず、逆に愛犬の口臭は臭わなくなり、歯石も付きにくくなりました♡ 健康にもGood! お試しを♡

6月4日 歯菌の日
7月10日 なつこの日

こんにちは〜(笑) 編集長いもです。今月号は6月と7月の「〇〇の日」として深い関係を発見したので、虫歯・歯周病と納豆のお話です(笑) 納豆はわが国日本の誇る栄養満点のソウルフード!! 大豆の栄養価はもとより、現在では納豆菌(ナットウキナーゼ)の発酵食品のパワーに注目が集まっています。納豆菌は腸内環境を整えます。腸内環境を整える代表として乳酸菌が有名ですが、実は乳酸菌は多くの場合、腸に届く前までに消滅してしまうので(もうのたそうです)。反面! 納豆菌は非常に強く、確実に腸まで届いて働いてくれます。腸内環境が整うと、アレルギーの軽減・美肌・便秘解消、また、心筋梗塞や数々の利益を私たちの身体にもたらしてくれます。注目と期待が寄せられているのが「歯周病・虫歯に納豆菌が効く!」というもの。ベテラン人は、食べていない人に比べて歯デキスタラネーゼという酵素は歯垢の成分に分解され、歯垢を除去する。納豆に含まれるビタミンKは、歯周病で出血しやすくなる歯茎を守ってくれる... などなど... 特に効果を上げたためには、夜(夕食)の最後に納豆を口にすることが良いそうですよ(笑) 虫歯・歯周病、特に歯周病菌は、口腔内のみならず、肺(肺炎)、心臓(心不全)、腎臓(腎不全)など、他の臓器に入り込んで悪さを起こすコワイ菌です。納豆を美味しく食べて、歯から全身まで元気でいたいものです♡ 現在研究が進む中、介護施設などでこまめに歯みがきができない、治療ができません... と言った方への納豆菌を使った口腔ケアが期待されています。わが国誇る「納豆」にこれからも期待大です!!



返事は『Yes』か『はい』か!!

倉庫の片隅に...「男女別のトイレが欲しいのだけど、できるかしら...」



さて、この狭く低いスペースを如何に... 配管経路も含めて、頭をひねってプランニング。描いた図面に基づいて、職人さん頑張ります。...頭が当たりそうですけど(笑)



そしてこうなって...



無事完成! 想像していたより快適な感じですよ。



無論やめた方がよいことは正直に言いますが、基本的にはどんなご要望にも『NO』『できません』という返事はありません。

「こんなことできるかしら...」
迷ったらとりあえずお話しくださいませ!

※発行元 mebuが編集長 茅山 貴彦 先生
亮建設(株)
新栄町新橋1-10-4
Tel. 03-3350-6689
Fax. 03-3350-8186